

MABI PAPERは#おかやま JKnoteの高校生目線で被災地や支援者の声を届ける新聞です。

MABI PAPER

TAKE FREE

発行#おかやまJKnote
〒700-0026岡山県岡山市北区
奉還町3-1-30 SGSG
info@jknote.work
www.jknote.work

街を元気にプロジェクトin真備



8000個の駄菓子を配って賑わった「駄菓子バイキング」

菓子のの中から好きなものを10個選べるという子供たちにとっては凄くワクワクするだろうブースになりました。

企画のひとつであるプロのバスケットボール選手「トライフープ岡山」が教えてくれるバスケットボール教室では、地元のバスケットボールクラブの小学生や中学生がたくさん集まりました。子供たちはプロの選手の技を目の当たりにし、真剣な眼差しで観戦していました。そして、最後は皆で、シュート1回チャレンジを行いました。会場には倉敷市の伊東香織市長も来られ、バスケットボールに挑戦し、みんなで楽しく取り組みました。シュートを決めた子供たちはとても嬉しそうでした。

私たち#おかやまJKnoteでは「駄菓子バイキング」の運営、焼き団子・マシュマロココアのブース出店しました。寒い日だったのもあり多くの人に喜んでもらえて良かったです。（熊谷日向子）



トライフープ岡山のみなさんによるバスケットボール教室



倉敷市の伊東市長にMABI PAPERをお渡ししました

1月27日（日）、倉敷市真備地区の園小学校で岡山の企業や高校生によって「町を元気にしよう」という目的のお祭りがありました。（岡山マツダ・トライフープ岡山様・倉敷市立園小学校・真備よろずチーム研究所共同企画）うどん、パン、バーガー、バナナやメロンといったフレッシュジュースなど飲食のブース、うらじゃ連俄嘉屋チームをはじめとするパフォーマンスなど熱気に包まれました。来場者は地元の人たちを中心に1000名以上で、会場内は笑顔で賑わいました。

その中で特に大きな盛り上がりを見せたのが「駄菓子バイキング」。園児と小学生が対象で、沢山ある駄

働く人がいて、そこに暮らす人がいる街 真備にしたい



「西日本豪雨」で被害に遭われ、現在倉敷市内で金融機関にお勤めの勝俣将樹さんにインタビューさせていただきました。（丸本華鈴）

Q.真備災害があった瞬間というのはどんな様子でしたか？

A.朝の4時半に「逃げろ」母から電話があって目が覚めました。外を見ると駐車場は雨でもう浸かっていたので車では動けない状態でした。とりあえずパソコンなどの機器類を高いところにあげ、6時に「本当に逃げろ」と母からまた電話がありました。そこで「これはアパートの1階から二階に避難するしかない」と妻とアパートの二階の廊下へ出ました。一階から声が聞こえてまだ人が残されてると思

い、助けようとしたが水圧でドアが開かず、窓を壊すしかなかったです。そこで周りの住民にも工具を借りてなんとか命を助けることができました。自衛隊が救助に来てくれるまでの間、二階の人はタオルを貸してくれたり、食べ物を出してくれたりしました。「そろそろ屋根に登らないと」と思っていた時にやっと自衛隊がきてくれました。電話で「迎えにきてほしい」と連絡して祖父の家まで避難しました。

Q.これからしたいことは？

A.誰を対象に、など特にないのですが、学校や職場などで「ありのままの自分」ではいられない人たちの居場所を作りたいですね。岡山大学の裏にこれから住む家を買ったので、そこをうまくつくて居場所スペースにしたいです。今はこのプロジェクトのスタッフが4人ほどしかいないのでこれからもっと増やしていけたらと思います。

Q.これから真備はどうなってほしいか？

A.ビジネス的に発展してほしいです。ボランティアで真備にいっぱい人が来てくれたりしますが、そういう盛り上がりは一瞬で終わってしまう。働く人が出て、住む人がいて、ちゃんとした町ができる状態になってほしい。真備って意外としっかりとした企業が沢山あるんです。住む人が今減ってきていると思うけど、そうすると土地も安くなっているはずだし、工場を増やして行って働く人も、住んでてよかったなあと思うことはあると思います。

移動図書館ファミリー号

被災して休館中の真備図書館による移動図書館のお知らせです。

日時 3月16日(土)
14時30分～15時30分
場所 真備公民館



MABI PAPER発行スケジュール

第16号 3月12日(火) (最終号)

★MABI PAPER特設サイト

https://peraiichi.com/landing_pages/view/mabipaper

「3.12だがしの日」ワークショップ開催

日時：3月3日(日) 13時～15時(入退場自由)

場所：真備東中学校 校門入口特設会場

主催：DAGASHIで世界を笑顔にする会
だがしの日イベント実行委員会

「3.12だがしの日」のイベントで、真備町内数か所の幼稚園・保育園を訪問します。3歳～6歳の園児たちが手に持って走る『だがしのトーチ(製菓トーチ)』を作ります。(誰でも簡単に作れます!) 参加者には駄菓子をプレゼント